

令和元年9月26日(木)

ネパール視察団の皆さんが市長訪問 ～リサイクルパークの生ごみ堆肥化技術が国境を越えてネパールへ～

9月26日、ネパールの視察団 10 人が市長室を表敬訪問しました。



ネパールでは生ごみから作られる堆肥を使った有機農業を促進しています。今回の訪問は3回目で、リサイクルパークへ堆肥化技術を伝えた堆肥育土研究所の橋本力男さんとの縁をきっかけに、平成30年から生ごみの堆肥生産などの視察のため鳥羽を訪れています。

中村市長は「今後も情報交換し、リサイクルパークを通じて交流を続けたい」と歓迎し、ダワ・ドルチェ・ラマ農林大臣は「ごみの堆肥化は取り組まなくてはならない課題。日本の技術を参考に無農薬生産を目指したい」と話し、ティミ市のマダン市長は「ティミ市では堆肥舎が70棟あり、肥料はとても人気がある。また、近隣市にも技術が広がりつつある。ぜひ市長にも一度訪れてほしい」と話し、招待状を渡しました。

その後、ネパールの視察団のみなさんは鳥羽市リサイクルパークへ移動し、堆肥化や分別の仕組みについて説明を受け、施設内を見学しました。